

兵労発基第 1193 号の 2
平成 24 年 10 月 16 日

関係団体 代表者 殿

兵庫労働局長

労働災害減少に向けた緊急要請について

全国及び兵庫県内の労働災害発生件数は、長期的には着実に減少してきましたが、平成 22 年、23 年と 2 年連続で増加しました。

この間、兵庫労働局においても、労働災害が増加傾向にある業種に対する集中的な指導の実施、リスクアセスメントの普及など、労働災害の減少に向けた様々な取組を行ってきました。また、関係団体に対しても、労働災害防止対策の推進を要請しました。

その結果、労働災害発生件数は、2 年連続増加したものの、死亡労働災害については平成 22 年の 60 人から平成 23 年は 37 人と約 4 割の大幅減少となりました。

しかしながら、平成 24 年に入って、9 月末までの死亡災害は昨年 9 月末の 25 人から 29 人へと 16%の増加となっています。労働災害発生件数は、8 月末まで対前年比較で増加傾向が続き、9 月末で対前年比較で 1%減少に転じましたが、なお 3 年連続の増加が危惧されます。

このため、別添のとおり労働災害の減少に向けた緊急要請をいたします。貴団体としての取組を強化いただくとともに、傘下の会員事業場への周知につきまして、特段の御配慮をお願いいたします。

労働災害減少に向けた緊急要請

全国及び兵庫県内の労働災害発生件数は、長期的には着実に減少してきましたが、平成22年、23年と2年連続で増加しました。

この間、兵庫労働局においても、労働災害が増加傾向にある業種に対する集中的な指導の実施、リスクアセスメントの普及など、労働災害の減少に向けた様々な取組を行ってきました。また、関係団体に対しても、労働災害防止対策の推進を要請しました。

その結果、労働災害発生件数は、2年連続増加したものの、死亡労働災害については平成22年の60人から平成23年は37人と約4割の大幅減少となりました。

しかしながら、平成24年に入って、9月末までの死亡災害は昨年9月末の25人から29人へと16%の増加となっています。労働災害発生件数は、8月末まで対前年比較で増加が続き、9月末で対前年比較で1%減少に転じましたが、なお3年連続の増加が危惧されます。

労働災害が増加に転じた背景には、様々な要因があります。リーマンショック以降の生産水準の回復や東日本大震災の復旧・復興需要の影響もその一因と考えられます。また、厳しい経営環境の中での安全衛生管理体制の劣化も懸念されます。第三次産業や陸上貨物運送事業の労働災害は、長期的に労働災害が減少する中でも横ばい傾向を続けてきており、特に第三次産業は、全労働者数に占めるウエイトが高くなる中、必ずしも十分な安全管理体制が確保されていないことが危惧されます。さらに、若年者をはじめ経験が十分でない労働者に対して効果的な安全衛生教育が実施されているのでしょうか。

いずれにしても、いかなる経済情勢下にあっても、労働災害は本来あってはならないものです。事業者の皆様におかれましては、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという強い決意のもと、企業の安全衛生活動を今一度総点検していただくよう要請します。

その上で、労使の皆様をはじめ、関係者が一体となって以下の取組を徹底し、労働災害の防止に努めていただきますよう、要請いたします。

- 1 安全衛生管理体制の充実
- 2 個々の労働者の状況に即した効果的な安全衛生教育の実施
- 3 「見える」安全活動など創意工夫した効果的な自主的安全衛生活動の実施

平成24年10月16日

兵庫労働局長 前田 芳延

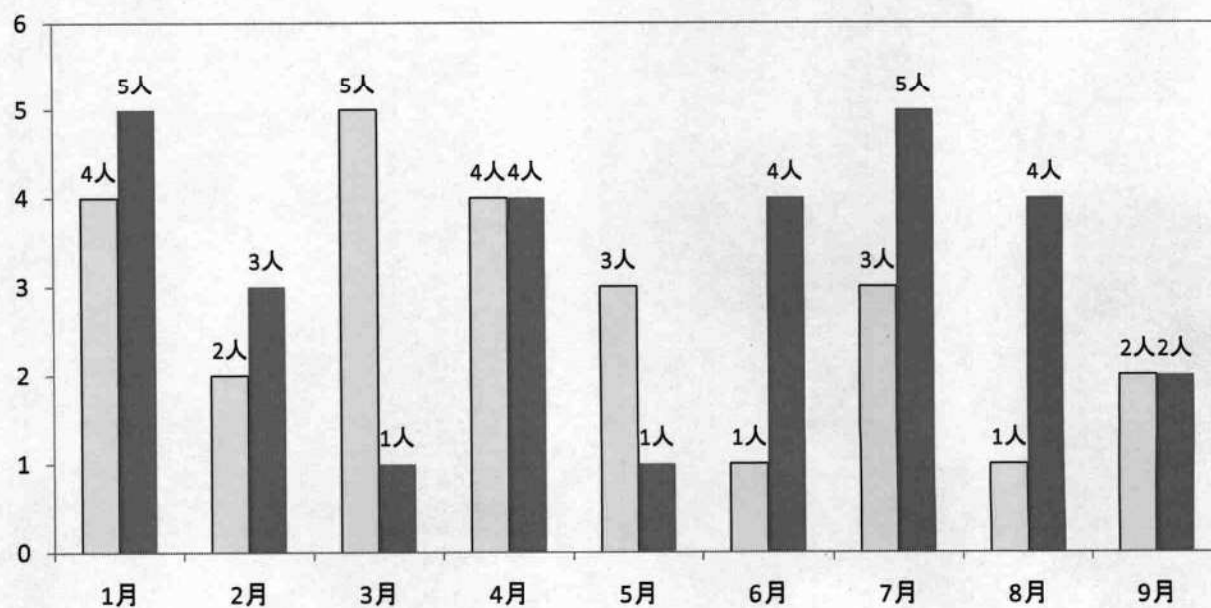
平成24年 死亡災害発生状況(兵庫県内速報値)

作成日 平成24年9月30日

	平成24年1月～作成日		前年同期		前年比較	
	死亡者数	構成率	死亡者数	構成率	増減数	増減率
全業種	29	100.0%	25	100.0%	4	16.0%
製造業	5	17.2%	8	32.0%	-3	-37.5%
鉱業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
建設業	13	44.8%	8	32.0%	5	62.5%
交通運輸業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
陸上貨物運送事業	3	10.3%	3	12.0%	0	0.0%
港湾荷役業	0	0.0%	1	4.0%	-1	-100.0%
林業	0	0.0%	1	4.0%	-1	-100.0%
その他の事業	8	27.6%	4	16.0%	4	100.0%

平成23年、平成24年 発生月別死亡災害発生状況

平成24年9月30日現在



□平成23年(前年同期) ■平成24年(1月1日～作成日)

平成24年(1月～9月)労働災害の発生状況

※労働者死傷病報告(休業4日以上)の死傷災害)により作成

業種別の労働災害発生状況(対前年比)

業 種	平成24年(1月～9月)		前 年 同 期		前 年 比 較		
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	
全 産 業	2,991	100.0%	3,020	100.0%	-29	-1.0%	
第一・二次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を含む)	1,749	58.5%	1,770	58.6%	-21	-1.2%	
製 造 業	833	27.9%	882	29.2%	-49	-5.6%	
鉱 業	7	0.2%	4	0.1%	3	75.0%	
建 設 業	375	12.5%	386	12.8%	-11	-2.8%	
運 輸 交 通 業	417	13.9%	399	13.2%	18	4.5%	
貨 物 取 扱 業	46	1.5%	38	1.3%	8	21.1%	
農 林 業	57	1.9%	53	1.8%	4	7.5%	
畜 産 ・ 水 産 業	14	0.5%	8	0.3%	6	75.0%	
第三次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を除く)	1,242	41.5%	1,250	41.4%	-8	-0.6%	
商 業	卸 売 業	49	1.6%	55	1.8%	-6	-10.9%
	小 売 業	369	12.3%	328	10.9%	41	12.5%
	上記以外の商業	19	0.6%	31	1.0%	-12	-38.7%
	計	437	14.6%	414	13.7%	23	5.6%
通 信 業	40	1.3%	57	1.9%	-17	-29.8%	
保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業	84	2.8%	64	2.1%	20	31.3%
	社 会 福 祉 施 設	174	5.8%	142	4.7%	32	22.5%
	上記以外の保健衛生業	4	0.1%	6	0.2%	-2	-33.3%
	計	262	8.8%	212	7.0%	50	23.6%
接 客 娯 楽 業	飲 食 店	103	3.4%	102	3.4%	1	1.0%
	ゴ ル フ 場	32	1.1%	50	1.7%	-18	-36.0%
	上記以外の接客娯楽業	32	1.1%	51	1.7%	-19	-37.3%
	計	167	5.6%	203	6.7%	-36	-17.7%
清 掃 ・ と 畜 業	ビルメンテナンス業	71	2.4%	56	1.9%	15	26.8%
	廃 棄 物 処 理 業	55	1.8%	77	2.5%	-22	-28.6%
	上位以外の清掃・と畜業	24	0.8%	29	1.0%	-5	-17.2%
	計	150	5.0%	162	5.4%	-12	-7.4%
そ の 他 の 事 業	警 備 業	32	1.1%	26	0.9%	6	23.1%
	上記以外のその他の事業	105	3.5%	108	3.6%	-3	-2.8%
	計	137	4.6%	134	4.4%	3	2.2%
金 融 広 告 業	23	0.8%	35	1.2%	-12	-34.3%	
映 画 演 劇 業			2	0.1%	-2	-100.0%	
教 育 研 究 業	25	0.8%	26	0.9%	-1	-3.8%	
官 公 署	1	0.0%	5	0.2%	-4	-80.0%	
(陸 上 貨 物 運 送 業)	367	12.3%	355	11.8%	12	3.4%	

注 第三次産業は通常、非工業的業種に運輸交通業、貨物取扱業を加えたものをいいますが、ここでは、非工業的業種の一〇業種(商業、通信業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、その他の事業、金融広告業、映画演劇業、教育研究業、官公署)を第三次産業と呼んでいます。

労働災害発生状況の推移(全国と兵庫県内)

※労働者死傷病報告(休業4日以上の死傷災害)により作成

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
全国	131478	129026	114152	116733	119622
兵庫	5474	5333	4568	4680	4749

